



2024（令和6）年度

二中だより



第11号 2024（令和6）年6月14日 発行責任者 加賀谷 登

県総体予選南部Bブロック大会壮行会

昨日、県総体予選南部Bブロック大会の壮行会を行いました。生徒会長の橋本さんから激励の言葉をもらった後、それぞれの部活動のみなさんから決意表明がありました。その後、「健闘を誓う応援旗」が発表されました。



剣道部



卓球部



女子ソフトテニス部



男子ソフトテニス部



サッカー部



バスケットボール部



バレーボール部



野球部

橋本生徒会長激励の言葉



総体まで早いところではあと数日となりました。この総体のために日頃から練習し、目標に向かって頑張ってきたと思います。これまでの努力と自分たちを信じ、悔いのないように戦ってください。3年生にとっては最後の総体となります。これまでご指導くださった先生方や、支え合ってきた仲間、応援してくれる家族の人への感謝の気持ちを忘れずに、県大会を目指し、最後まであきらめずに頑張りましょう。

健闘を誓う応援旗発表（青木優虎さん）



みなさん、いよいよ総体が近づいてきました。今年度もキャプテン、副キャプテンが集まり、このような応援旗を作りました。真ん中の文字は、今年の二中学生のテーマでもある「輝く」という文字が入っています。勝敗には、もちろんこだわりたいですが、仲間同士、また、相手チームとも互いを高め合って成長する大会にしたいです。試合ができることを、心から楽しみながら、全カプレーすることを約束します。みなさん、応援よろしくお願いします。

学校長激励の言葉

先日、各部のキャプテンに県総体予選南部Bブロック大会に向けての意気込みを書いてきてくださいと頼んだところ、それぞれの部活動のキャプテンたちが入部してから現在までの思いを書いてきてくれました。昨年度の大会で悔しい思いをしたこと、辛かった練習のこと、合同チームゆえの苦労・難しさ、先輩への思い、後輩への思い、先生方や保護者のみなさんへの感謝の思い、そして、3年間ともに頑張ってきた同級生への思い。部活動によって事情は異なりますが、それぞれの思いを読ませてもらいました。その決意は、今日、二中だよりに載せてあるので、読んでください。
この決意文を読ませてもらって、あるいは本番の試合を観させてもらって感じるのには、部活動の素晴らしさです。もちろん、運動部だけでなく文化部にもいえます。先輩から自分たちへ、自分たちから後輩へ繋いでいく思い、先生方の指導や保護者のみなさんの支えがあって、本番を迎えることができるわけです。なによりも、苦しい時も楽しい時も、部活動だけでなく、学校生活も含めて共に頑張ってきた同級生との絆は、堅固なものはずです。3年間の部活動、実質は2年と3か月という期間ですが、仲間たちとこの間学んだことや習得した技術、積み積み重ねた思いを、この大会で出してきて欲しいと思います。
勝って流す涙を見たいと思いますが、すべての人たちが勝って泣けるわけではありません。それぞれの思いがある分、負けて流す涙も美しいものです。負けても恥じる必要はありません。それぞれが楽しんで、最後の最後勝敗が決するまで、全力で悔いを残すことなく頑張ってきてください。
主に、3年生に向けての激励になってしまいましたが、2年生1年生のみなさんは、しっかりと3年生の姿を見ていてください。そして、その時感じた思いを後輩につなげていってください。
みなさんの健闘を祈ります。